



平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月12日

上場会社名 富士精工株式会社

上場取引所 名

コード番号 6142 URL <http://www.c-max.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 森 誠

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 鈴木 龍城

TEL 0565-53-6611

四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日

配当支払開始予定日

平成24年11月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	8,521	8.2	587	75.4	708	81.5	463	79.2
24年2月期第2四半期	7,878	16.9	334	—	390	404.9	258	—

(注) 包括利益 25年2月期第2四半期 672百万円 (80.3%) 24年2月期第2四半期 372百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	24.52	—
24年2月期第2四半期	13.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第2四半期	19,088	12,417	60.4	609.31
24年2月期	18,751	11,793	58.4	578.35

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 11,525百万円 24年2月期 10,941百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年2月期	—	3.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成25年2月期期末配当金予想につきましては、現時点において未定であります。

3. 平成25年 2月期の連結業績予想(平成24年 3月 1日～平成25年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,370	9.5	720	38.0	910	50.5	550	23.5	29.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期2Q	21,533,891 株	24年2月期	21,533,891 株
25年2月期2Q	2,618,553 株	24年2月期	2,615,304 株
25年2月期2Q	18,916,670 株	24年2月期2Q	18,919,931 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州での債務問題を背景とした海外経済の減速化等が影響した円高の長期化や株価の下落等の要因により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

また、わが国の経済は、東日本大震災の復興需要を背景とした回復の兆しがみられるものの、電力の安定供給への懸念、消費税論議にともなう消費マインドの低下や欧州問題に起因する金融市場の混乱など、経済活動の本格的な回復の妨げになっております。

当社グループの主要な取引先であります自動車産業界におきましては、東日本大震災及びタイ大洪水からの復旧、あるいはエコカー補助金等の影響をうけて、生産の回復基調が鮮明となりました。

こうした環境のもと、当社グループといたしましては、中期経営戦略に掲げた「特殊工具のオンリーワン・カンパニーとなる」「加工点のトータル・エンジニアリング・カンパニーとなる」といったテーマのもと、取引先との取引深耕に努め、受注確保を図ってまいりました。

その結果、売上高は85億2千1百万円（前年同四半期比8.2%増）、営業利益5億8千7百万円（前年同四半期比75.4%増）、経常利益7億8百万円（前年同四半期比81.5%増）、四半期純利益4億6千3百万円（前年同四半期比79.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

東日本大震災からの復旧により、自動車産業界における国内生産は回復基調にあり、また新興国市場向けの設備投資等が好調に推移いたしました。

その結果、工具、治具、自動車用試作部品等の需要が増加し、売上高は55億2千1百万円（前年同四半期比16.7%増）、セグメント利益は3億9千7百万円（前年同四半期比237.5%増）となりました。

②アジア

中国、韓国、東南アジアの自動車産業界でのおう盛な設備投資意欲等にけん引され、工具の需要は堅調に推移しました。

その結果、売上高は17億5千7百万円（前年同四半期比3.6%減）、セグメント利益は1億5千5百万円（前年同四半期比13.6%増）となりました。

③北米

自動車産業界における自動車生産の回復を受け、工具の需要が増加に転じてまいりました。

その結果、売上高は5億9百万円（前年同四半期比25.8%増）、セグメント利益は8百万円（前年同四半期は1千9百万円のセグメント損失）となりました。

④オセアニア

豪ドル高にともなう国内製品の競争力低下、国内の小売業界不調等の影響を受け、当地域において販売しております住宅用断熱資材、バブルバック製品の需要は減少いたしました。

その結果、売上高は5億9千8百万円（前年同四半期比12.1%減）、セグメント利益は2千7百万円（前年同四半期比10.2%増）となりました。

⑤その他

当地域におきましては、売上高は1億3千4百万円（前年同四半期比43.4%減）、セグメント損失は2百万円（前年同四半期は2千5百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末と比較して、3億3千7百万円増加して190億8千8百万円となりました。

これは主に、現金及び預金が4億5千万円、投資有価証券が1億円、それぞれ減少したものの、有価証券が7億4千1百万円、商品及び製品が1億4千6百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

また、負債は前連結会計年度末と比較して、2億8千6百万円減少して66億7千1百万円となりました。

これは主に、短期借入金が2億円減少したことなどによるものであります。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して、6億2千3百万円増加して124億1千7百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が4億2千6百万円、為替換算調整勘定が1億7千1百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

なお、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は60.4%となっております。

キャッシュ・フローの状況につきましては次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して、2億4千万円増加し、27億2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は6億4千6百万円（前年同四半期比69.2%増）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益5億8千8百万円、減価償却費4億5百万円、たな卸資産の増加額2億4千9百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は1億4千4百万円（前年同四半期比82.2%減）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出3億2千6百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は2億6千7百万円（前年同四半期比3.7%減）となりました。

これは主に、短期借入金の純減少額2億円、長期借入れによる収入4億円、長期借入金の返済による支出4億2千6百万円などによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期通期の連結業績予想については、平成24年4月13日発表の予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 2 月 29 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 8 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,477,296	2,026,790
受取手形及び売掛金	4,668,160	4,662,803
有価証券	323,439	1,064,525
商品及び製品	1,175,068	1,321,103
仕掛品	375,240	462,923
原材料及び貯蔵品	267,670	297,709
繰延税金資産	111,917	109,152
その他	197,092	258,182
貸倒引当金	△15,312	△16,536
流動資産合計	9,580,573	10,186,653
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,366,106	2,331,064
機械装置及び運搬具（純額）	2,850,389	2,844,770
土地	1,329,476	1,331,884
建設仮勘定	82,590	64,367
その他（純額）	132,960	130,866
有形固定資産合計	6,761,524	6,702,953
無形固定資産	174,829	179,204
投資その他の資産		
投資有価証券	1,853,112	1,752,699
長期貸付金	4,553	3,906
繰延税金資産	46,674	53,861
その他	365,326	244,507
貸倒引当金	△34,976	△34,976
投資その他の資産合計	2,234,691	2,019,997
固定資産合計	9,171,045	8,902,155
資産合計	18,751,619	19,088,809

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,073,172	1,051,468
短期借入金	600,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	1,589,529	1,564,827
未払法人税等	64,849	31,717
賞与引当金	90,631	122,503
関係会社整理損失引当金	24,756	24,756
繰延税金負債	1	29,130
その他	918,800	938,288
流動負債合計	4,361,740	4,162,692
固定負債		
長期借入金	671,861	674,467
退職給付引当金	1,628,252	1,590,477
繰延税金負債	97,609	53,184
その他	198,947	190,876
固定負債合計	2,596,670	2,509,006
負債合計	6,958,411	6,671,698
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,882,016	2,882,016
資本剰余金	4,165,413	4,165,413
利益剰余金	5,553,332	5,979,406
自己株式	△733,297	△733,844
株主資本合計	11,867,464	12,292,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	147,636	134,714
為替換算調整勘定	△1,073,449	△902,390
その他の包括利益累計額合計	△925,812	△767,675
新株予約権	4,862	9,427
少数株主持分	846,693	882,367
純資産合計	11,793,208	12,417,111
負債純資産合計	18,751,619	19,088,809

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
売上高	7,878,480	8,521,922
売上原価	6,138,841	6,522,441
売上総利益	1,739,638	1,999,481
販売費及び一般管理費	1,404,829	1,412,148
営業利益	334,809	587,333
営業外収益		
受取利息	26,377	32,600
受取配当金	8,144	10,037
持分法による投資利益	43,512	133,872
デリバティブ評価益	36,147	15,204
その他	43,675	59,540
営業外収益合計	157,857	251,254
営業外費用		
支払利息	38,240	30,085
売上割引	7,754	5,764
為替差損	53,681	77,368
その他	2,795	17,281
営業外費用合計	102,471	130,499
経常利益	390,195	708,088
特別利益		
固定資産売却益	644	3,039
貸倒引当金戻入額	366	—
特別利益合計	1,011	3,039
特別損失		
固定資産除売却損	7,001	4,919
投資有価証券評価損	6,444	96,284
ゴルフ会員権評価損	2,266	—
その他	750	21,497
特別損失合計	16,462	122,702
税金等調整前四半期純利益	374,744	588,424
法人税、住民税及び事業税	77,827	76,258
法人税等調整額	△1,466	1,917
法人税等合計	76,360	78,176
少数株主損益調整前四半期純利益	298,383	510,248
少数株主利益	39,561	46,338
四半期純利益	258,821	463,910

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 3 月 1 日 至 平成23年 8 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年 8 月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	298, 383	510, 248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△118, 278	△12, 922
為替換算調整勘定	205, 812	139, 014
持分法適用会社に対する持分相当額	△12, 963	36, 017
その他の包括利益合計	74, 570	162, 109
四半期包括利益	372, 953	672, 358
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	315, 480	622, 047
少数株主に係る四半期包括利益	57, 473	50, 311

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	374,744	588,424
減価償却費	416,540	405,238
デリバティブ評価損益 (△は益)	△36,147	△15,204
持分法による投資損益 (△は益)	△43,512	△133,872
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△56,403	△37,351
賞与引当金の増減額 (△は減少)	60,940	31,872
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	222	1,059
受取利息及び受取配当金	△34,522	△42,637
支払利息	38,240	30,085
有形固定資産除売却損益 (△は益)	6,357	1,880
投資有価証券評価損益 (△は益)	6,444	96,284
売上債権の増減額 (△は増加)	△129,065	14,863
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△41,997	△249,529
仕入債務の増減額 (△は減少)	△185,028	△22,355
その他	54,024	77,676
小計	430,837	746,435
利息及び配当金の受取額	74,353	52,984
利息の支払額	△31,424	△30,507
法人税等の支払額	△91,435	△122,043
営業活動によるキャッシュ・フロー	382,331	646,869
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,001,260	△83,981
有価証券の売却による収入	468,432	141,132
有形固定資産の取得による支出	△269,595	△326,981
有形固定資産の売却による収入	2,242	5,711
貸付けによる支出	△1,217	△1,295
貸付金の回収による収入	1,954	1,688
定期預金の払戻による収入	—	20,000
その他	△9,320	99,557
投資活動によるキャッシュ・フロー	△808,765	△144,169

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 3 月 1 日 至 平成23年 8 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年 8 月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	△200,000
長期借入れによる収入	—	400,000
長期借入金の返済による支出	△172,751	△426,449
自己株式の取得による支出	△185	△546
配当金の支払額	△818	△37,429
少数株主への配当金の支払額	△1,216	△275
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,181	△3,181
財務活動によるキャッシュ・フロー	△278,153	△267,883
現金及び現金同等物に係る換算差額	37,867	5,348
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△666,719	240,165
現金及び現金同等物の期首残高	3,062,942	2,461,834
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,396,223	2,702,000

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

Ⅰ 前第2四半期連結累計期間（自平成23年3月1日 至平成23年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	北米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	4,730,919	1,823,580	405,513	681,394	7,641,407	237,072	7,878,480	—	7,878,480
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	678,478	209,378	519	—	888,375	2,583	890,958	△890,958	—
計	5,409,397	2,032,958	406,032	681,394	8,529,783	239,656	8,769,439	△890,958	7,878,480
セグメント利益 又は損失 (△)	117,790	137,045	△19,743	25,034	260,125	25,162	285,288	49,521	334,809

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額49,521千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成24年3月1日 至平成24年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	北米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,521,152	1,757,983	509,980	598,607	8,387,723	134,199	8,521,922	—	8,521,922
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	773,630	262,826	198	—	1,036,656	4,047	1,040,703	△1,040,703	—
計	6,294,782	2,020,810	510,179	598,607	9,424,379	138,246	9,562,626	△1,040,703	8,521,922
セグメント利益 又は損失 (△)	397,484	155,631	8,703	27,586	589,406	△2,363	587,042	290	587,333

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額290千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

提出会社の管理部門及び研究開発費等にかかる費用は前連結会計年度まで報告セグメントに帰属しない全社費用として調整額に含めておりましたが、第1四半期連結会計期間よりセグメントの業績評価を精緻化するために費用の配分方法を細分化しております。

なお、この変更は前第2四半期連結累計期間についても遡及適用しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。
- (7) 重要な後発事象
該当事項はありません。